

令和2年1月～12月の火災概況【確定値】

令和2年中の長崎県内の火災件数は394件、死者数は18名、損害額は811,819千円、り災世帯数は205世帯、り災人員は458名でした。

これを前年と比較してみると、火災件数は31件減少、死者数(注)は6名減少、損害額は76,551千円の増加となっています。

区 分	令和2年(A)	令和元年 (B)	増 減 A-B=C	増減率(%) C/B×100
出火件数	394	425	△ 31	△ 7.3
(建物)	187	206	△ 19	△ 9.2
<住宅>	117	116	1	0.9
(林野)	42	28	14	50.0
(車両)	25	36	△ 11	△ 30.6
(船舶)	4	3	1	33.3
(その他)	136	152	△ 16	△ 10.5
焼損棟数	305	357	△ 52	△ 14.6
り災世帯数	205	231	△ 26	△ 11.3
り災人員	458	542	△ 84	△ 15.5
焼損面積 (建物(m ²))	13,841	15,719	△ 1,879	△ 12.0
(林野(a))	206	120	86	71.8
損害額(千円)	811,819	735,268	76,551	10.4
死 者	18	24	△ 6	△ 25.0
<65歳以上>	13	19	△ 6	△ 31.6
<住宅> 放火自殺者等を除く	11	18	△ 7	△ 38.9
負傷者	53	40	13	32.5

注) 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

○出火原因(ワースト5)

年度	1位	2位	3位	4位	5位
元年	たき火 (101)	コンロ (25)	たばこ (24)	放火 (18)	ストーブ (15)
2年	たき火 (117)	たばこ (25)	コンロ (18)	電灯・電話等 の配線 (17)	放火 (12)

注1) 畑で枯れ草等を燃やす場合も「たき火」という。

注2) 「放火」には、「放火の疑い」を含む。